

2016年5月19日
日本テラデータ株式会社

Yahoo! JAPAN、テラデータと技術提携でビッグデータ活用を促進 次世代データ分析基盤構築に向け、 Teradata Labs とサービスやソリューションを共同開発

日本テラデータ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉川 幸彦、以下日本テラデータ）は、ヤフー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮坂 学、以下 Yahoo! JAPAN）が、次世代データ分析基盤の構築を目指し、テラデータ・コーポレーションと技術提携したことを発表します。

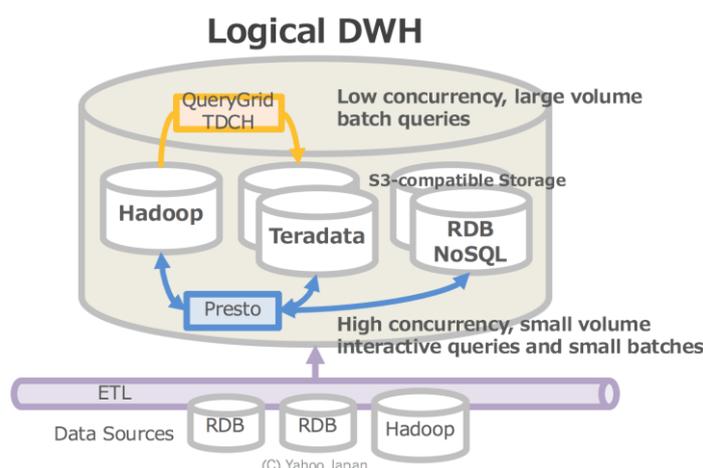
さらに、Yahoo! JAPAN は全ビジネス部門でのさらなるデータの利活用を目指し、分析基盤に最新モデルの Teradata を追加導入し、また Teradata QueryGrid™ を採用しました。これにより、より高度な分析パフォーマンスの実現を目指します。

● 技術提携の目的：

国内最大級のポータルサイト Yahoo! JAPAN は、検索、ニュース、E コマースを含む 100 以上のサービスを PC やスマートデバイスで展開し、Web ログ解析や売上解析、広告表示の最適化など、ビッグデータ利活用のために、Teradata や Hadoop、NoSQL などのビッグデータ関連の技術を、データの種類や性質に応じて適材適所で活用しています。今回、テラデータ・コーポレーションの R&D 部門である Teradata Labs（以下、テラデータ・ラボ）との技術提携を通じて、テラデータ・ラボが研究開発する最先端のビッグデータ関連の技術開発に参加し、次世代データ分析基盤に成果をいち早く取り入れることで、ビッグデータ利活用の進化を加速させ、サービスの改善や新規開発に役立てます。

● 主な技術提携の内容：

- 複数のデータソースに対して統一的なアクセスを可能にする機能など、Yahoo! JAPAN が次世代データ分析基盤を実現する上で必要なサービス、ソリューションの共同開発。
- テラデータの最新技術と Yahoo! JAPAN が持つ多様な分析方法（ユースケース）およびビッグデータを活用した先行的な共同検証。検証結果を両社の今後の技術戦略に反映。
- 限定された Teradata ユーザーから構成されるグローバルなアドバイザリーグループ、Unified Data Architecture Product Advisory Council (UDA PAC) ※への加盟。Teradata 製品およびビッグデータ・ソリューションに関する課題を討議し、テラデータへフィードバックを実施。



技術提携に向け、Yahoo! JAPAN 様より、下記コメントをいただいております。

「今回、弊社が次世代データ分析基盤を構築するにあたり、データ分析の分野で長年の豊富な経験と技術力、また業界のリーダーシップをもつテラデータ・ラボと技術提携することになりました。この提携により、最先端の技術を活用して共同開発を行うことで、より利便性の高い、強力な課題解決エンジンを実現したいと考えています」

執行役員 データ&サイエンスソリューション統括本部長 志立 正嗣 様

「Teradata の強みは何と言っても多種多様な大量データを扱えることで、弊社が望む 1,000 人規模のユーザーが同時アクセスできる分析環境を構築できることです。また、ユーザーの発想に基づいた自由度の高い分析に対応できるのも強みです。今後、テラデータ・ラボとの共同開発を通して、多種多様なデータやデータソースをさらに扱いやすくすることで、弊社の技術開発やビジネスのスピードを加速していきたいです」

データ&サイエンスソリューション統括本部 データプラットフォーム本部 本部長 佐々木 潔 様

日本テラデータの代表取締役社長 吉川 幸彦も「Yahoo! JAPAN 様は、弊社の先進的な分析ノウハウ、また弊社が提唱する分析エコシステム、Teradata Unified Data Architecture™の重要性をいち早くご理解いただき、分析ソリューション、また分析コンサルティングをご利用いただいています。今後も強力なパートナーとして、弊社のグローバル戦略をいち早く共有し、Yahoo! JAPAN 様の高度な分析ニーズに応えていきたいと考えています」と述べ、技術提携によるビジネス機会創出の拡大を目指します。

分析基盤に最新モデルの Teradata を追加導入し、Teradata QueryGrid を活用してシームレスな分析環境を実現

さらに今回、Yahoo! JAPAN は、全ビジネス部門でさらなるデータの利活用を目指し、データ分析基盤に Teradata を追加導入しました。

以前より分析基盤に Teradata DWH を活用し、膨大なボリュームで多種多様なデータの収集、蓄積、統合、分析を行っています。今回、社内のデータ利活用が進み、ユーザーが発行するクエリーの量が増加するとともに、種類も多様化してきたことから、既存の Teradata に加えて、最新モデルを追加導入しました。さらに複数のプラットフォームに対する透過的なアクセスを実現する Teradata QueryGrid を採用し、既存の Teradata とのシームレスな分析環境を構築しました。

これにより、従来のシステムに比べ、パフォーマンスが最大で 40 倍向上し、広告の効果測定、またページビュー数やアクティブユーザー等のアクセス数の分析作業が効率化しました。また、分析サイクルのスピードと精度が向上し、素早い意思決定が実現しました。さらにアクセス・ログデータの Teradata へのロードが、日次から 1 時間単位で可能になり、鮮度の高い分析が可能になりました。

日本テラデータは、今後もコンサルティング、分析ソリューション、および各種サービスの提供を通じて、Yahoo! JAPAN のさらなるデータ活用の高度化を支援していきます。

※ UDA PAC について : <http://partners.teradata.com/uda-pac>

以上

###

◆ 日本テラデータについて

日本テラデータ株式会社は、テラデータ・コーポレーションの日本法人です。統合データウェアハウス、ビッグデータ分析ソリューション、マーケティング・アプリケーションおよび関連サービスに関するコンサルティング、構築支援、教育、メンテナンスサポートなど各種サービスを提供しています。

* Teradata、Teradata ロゴは、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他各国における商標または登録商標です。